

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年1月13日（木）

### 2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアP（P1、P2）

### 3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアPの現況

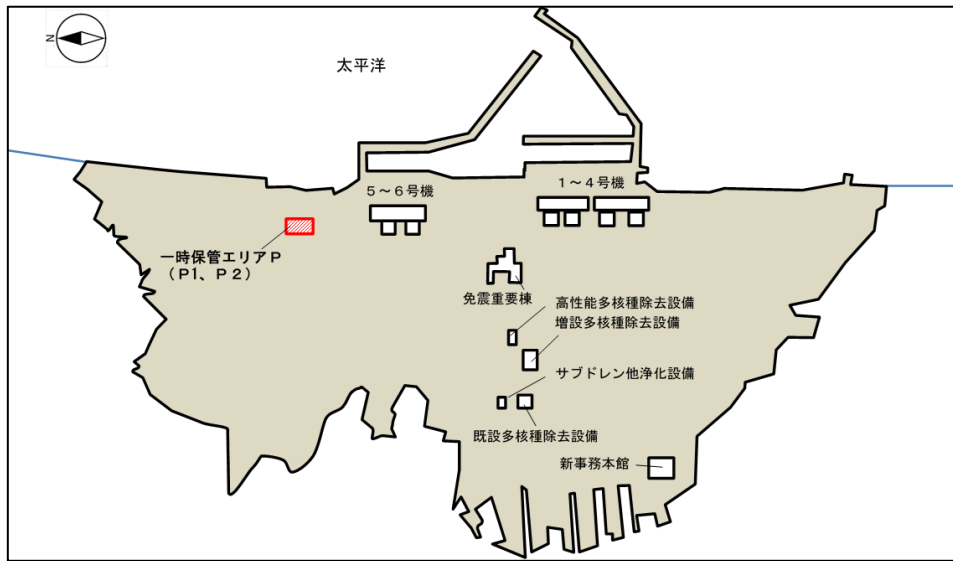
### 4 確認結果の概要

昨年7月、瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）P2において、瓦礫類の保管に使用していたノッチタンクから放射性物質が漏れ出し、一時保管エリアPの排水枡の全ベータ値が上昇するという事象が発生した。

東京電力では、この事象を踏まえ、放射性物質の流出抑制対策として、ノッチタンク周辺土壌の除去及び一時保管エリアP排水枡へのゼオライト土嚢等の設置などの対策を実施している。

また、飛散抑制対策が必要な瓦礫類を保管している収納容器（ノッチタンクやコンテナ）に対して、仮設シート養生を実施し、恒久的な対策として、本設シート養生への付け替えを実施している。前回に続き、一時保管エリアPの現況を確認した。（図1）（前回確認日：[令和3年9月29日](#)）

- ・一時保管エリアP2では、ノッチタンクに掛けられた仮設シートを耐候性のある本設シートに掛け替えるため、仮設シートを外す作業が行われていた。（写真1）
- ・一部のノッチタンクは既に本設シートへの掛け替えが完了していた。（写真2）
- ・エリアの入り口やエリアP排水枡には引き続き放射性物質を吸着させるためのゼオライト土嚢等が設置されていた。（写真3）
- ・東京電力では、本年3月を目処に収納容器への本設シート養生を完了するとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
一時保管エリアP2の仮設シート外し作業の状況(北側から撮影)



(写真2)  
一時保管エリアP2のシート養生の状況(南東側から撮影)



(写真3-1)  
一時保管エリアP入口の状況(南側から撮影)



(写真3-2)  
一時保管エリアP排水柵の状況(南側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。